



キッチンから、笑顔をつくろう

株主の皆さまへ

第58期 第2四半期
報告書

2010年4月1日から 2010年9月30日まで

株主の皆さまへ

クリナップの新企業理念

クリナップは、創業60周年(2009年10月)を契機に、『第二の創業』に向けた新たな一歩を踏み出すべく、新企業理念を年初1月に策定いたしました。これは、創業以来の精神を受け継ぎながら、時代の転換期に対応した大胆な変革を推し進めていくための、新たな経営のガイドラインです。

■ 新企業理念

創業者理念「五心」

- 一、創業の心
- 一、親愛の心
- 一、創意の心
- 一、技術の心
- 一、使命の心

創業者理念
「五心」企業理念
「家族の笑顔を創ります」

行動理念

1. 私たちは、心豊かな食・住文化を創ります
2. 私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます
3. 私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります

新ブランドステートメント
キッチンから、笑顔をつくろう

事業としては「キッチンダントツNo.1」をめざす
お客様に対しては「キッチンの代名詞」としての評判をつくる

活動方針

中期的な取り組みが奏効し、
予想を上回る業績を上げる
ことができました。



代表取締役社長

井上 強一

2011年3月期上半期
連結決算ハイライト

- 売上高は当初予想を上回るとともに、前年同期比5.2%増となりました。
- 営業利益は増収効果もあり、これまでの収益体質への変革の取り組みが効果を発揮し、計画を大きく上回るとともに、前年同期比37.6%増となりました。
- 各製品セグメントにおいて、業界シェアはさらに回復傾向を強めております。



長引く景気低迷の中、経営改革が効果を発揮し、当初予想を大幅に上回りました。

新設住宅着工戸数は、2010年4月に前年同月を17ヵ月ぶりに上回り、8月には20.5%増となるなど、今年度に入って回復の兆しを見せ始めております。しかし、リフォーム需要もいまだ顕在化が見られず、全体としては先行き不透明感が強く依然として厳しい環境で推移しました。

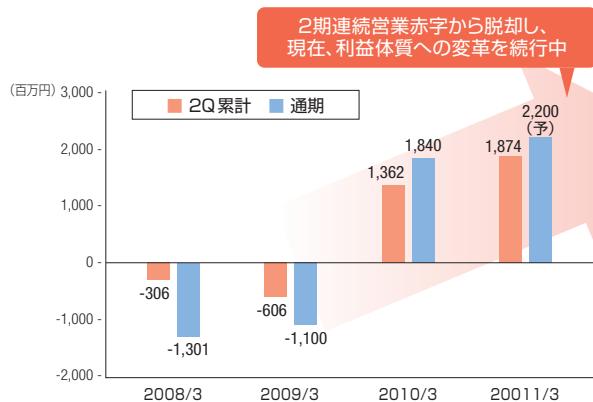
そうした中、当第2四半期累計期間の業績は、前期までの約3年間にわたる経営改革の効果により、前第2四半期累計期間に引き続き黒字決算となり、収益体質への変革を完全に果たすことができたと考えています。厳しい事業環境を勘案して、当初予想では前期実績を大幅に下回る利益を予想していました。しかし、“The Kitchen Company”として高品質な商品の品揃え拡充効果が表れ、中・高級タイプの「クリンレディ」、普及タイプの「ラクエラ」などが売上を牽引したことなどから、当初予想を大幅に上回ると共に、前

年同期比増収増益となりました。

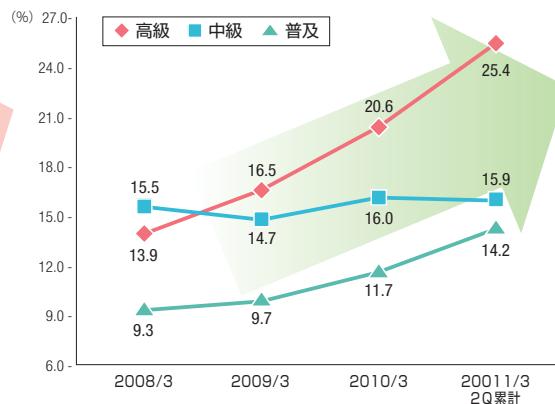
また、当社の業界におけるポジションの回復もさらに進んでおります。システムキッチンにおける当社の業界シェアを見ると、高級タイプ、中級タイプ、普及タイプすべてのシェアが一層の向上を見せています。特に、“The Kitchen Company”としての代表ブランドである高級タイプの「S. S.」および「S. S. ライトパッケージ」は、高級システムキッチン市場全体が低迷する中で、販売数量を伸ばし、シェアが25.4%まで高まる状況となっております。

当第2四半期の業績好調を受けて、当社は、2010年11月5日に通期業績予想についても上方修正を公表しました。新しい通期予想では、売上高が前年同期比4.7%増の103,500百万円、営業利益が同19.5%増の2,200百万円を見込んでおります。

■ 連結営業利益の推移



■ システムキッチンにおける当社の業界シェア推移



株主の皆さまへ

顧客目線からの経営を基礎とした利益体質への変革が、順調に進んでおります。

当期(2011年3月期)の経営基本方針として当社は、メインテーマ「“The Kitchen Company”への邁進」、サブテーマ「顧客目線からの経営を基礎とした利益体質への変革」を掲げ、経営を推し進めております。前期までは、現在の厳しい事業環境に損益分岐点を適合させるためのコスト構造改革が主眼となっておりましたが、当期からは、同時に推し進めてきた“顧客目線からの経営”をさらに強化しながら利益体質を築き上げていく、という次のステップに移行しています。

これまでの取り組みにより、商品ラインナップは高級タイプから普及タイプまで出揃い、多様なお客さまのニーズに対応可能な状況にあり、機会損失が最小化しております。毎年のリニューアルや新商品開発により、常に魅力を確保・向上することで、今後もシェアアップを図ってまいります。2010年6月には、システムキッチン2ブランドとシステムバスルーム1ブランドのリニューアル、洗面化粧台1ブランドの新規発売を行ないました。

“顧客目線”からの施策としては、従来から力を注いできた「地域密着型のコミュニケーション」の強化を図っています。昨年好評を博した「キッチンお掃除教室」の開催拡充、様々なイベント展開も可能な「パーティースペース」を併設したショールームの強化(新たに名古屋に開設)など、全国のショールームを基点としたコミュニケーション施策が一層充実してきております。また、リフォーム需要を喚起する「水まわり工房」は、全国会員店1,800店体制のもと、積極的なリフォームセミナーやリフォームフェア開催に加え、当期は「わいわい工場見学会」も再開し、一層の顧客囲い込みに貢献しました。さらに、新たな手法として、ステンレスの良さを紹介するウェブサイトの開設、ツイッターの機能を活用したお風呂の理想や不満のつぶやきコミュニティの開設など、ウェブ・コミュニケーション施策を展開し、新たな顧客層の獲得やクリナップファンの育成につながっております。

2011年3月期
経営基本方針

メインテーマ

“The Kitchen Company”への邁進

サブテーマ

顧客目線からの経営を基礎とした利益体質への変革

ステークホルダーとともに持続的な発展を目指すCSR経営を展開してまいります。

昨年の創業60年を節目に、当社は、本年度からの経営を『第二の創業』と位置づけ、新たなステージの経営に着手しております。企業理念「家族の笑顔を創ります」のもと、“顧客目線”からの商品・サービスの展開を基礎に、当社は、広くステークホルダーとともに持続的な発展を目指すCSR経営を展開していきたいと考えております。

株主の皆さまへの利益還元は経営の最重要課題の一つと認識しており、今後とも利益体質の強化を図り、安定配当に努め

てまいります。

また、最も身近なステークホルダーである社員の労働環境の整備、環境配慮型PCサーバへの全国一斉刷新など、当社のCSR経営は随時深みを増してきております(詳しくは6ページをご覧ください)。

株主の皆さまには、引き続き当社の経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集:「ステンレス」の技術力



“The Kitchen Company”として 「ステンレス」という素材のすばらしさを お客さまにご提案してまいります。

ステンレスは、錆びにくく丈夫で、汚れやニオイも染み込まず、しつこい汚れも簡単にキレイにできるといった素材特性を持っていることから、キッチンに最適の素材です。そのため、飲食店の厨房のほとんどがステンレスのキッチン。料理のプロも最高の信頼を置いているこのステンレス素材を、クリナップは高級タイプのシステムキッチン「S.S.」と「S.S. ライトパッケージ」において、キッチン本体そのものにまで生かしています。



**ステンレスの素材特性を
最大限に引き出す
独自のノウハウと技術力。
海外への技術提供も
行っています。**

ステンレス素材を使用したキッチンは、ステンレスの素材特性を最大限に引き出す加工を的確に施して初めて、最高の品質を実現することができます。例えば、しつこい汚れが付着しやすいシンクは、表面の特殊コーティングと凹凸加工によって汚れがより簡単に取れ、キズも付きにくく、しかも水を弾く音を小さくすることができます。お客さま目線からの適材適所の加工技術がステンレス・キッチンを最高の商品に仕上げるのです。

当社が長年培ってきたステンレス加工のノウハウと技術は、世界的な電気機器メーカーであるアメリカのワールプール社に対して技術提供を行なうなど、海外でも高い評価を受けております。

**ステンレス素材の
すばらしさを
お客さまにお伝えするための
スペシャルコンテンツを
開設しました。**

約50年にわたってステンレスという素材に向き合ってきたキッチン専門メーカーの視点から、ステンレスの良さを皆さまにご紹介するスペシャルコンテンツを、当社ウェブサイトにて公開しております。

内容の充実も随時図っておりますので、是非一度ご覧いただければ幸いです。



<http://cleanup.jp/stainless/>

主なトピックス

新商品関連

第二の創業を記念して、6月1日に4商品を同時発売

昨年迎えた創業60周年を第二の創業とし、お客さまへの感謝の気持ちをこめて「より良く、お求めやすい」新商品を、6月1日に4商品同時発売。

新型「S.S.ライトパッケージ」では、キッチンの素材として最適なステンレス(タフ・クリーン・エコロジー)のキャビネットをより多くのお客さまにご利用いただきたいとの想いから、間口や高さなどのバリエーションを増やしつつ、従来型よりお求めやすいいたしました。

新型「ラクエラ」は、価格帯を2シリーズから3シリーズへ、扉カラーも23色から30色へと最新のインテリアを意識したリニュー

アルを行ないました。

新商品「BTG」は、洗練されたデザインと毎日の使いやすさをスマートにまとめ、お求めやすい価格設定になっております。

新型「hairo(はいろ)」では、従来のプランにライトとハイグレードを追加し、全プランに保温性の高いサンドイッチパネルを標準装備。ご予算とご計画に合わせて選びやすくお求めやすい構成にリニューアルいたしました。

なお、システムキッチン「ラクエラ」、洗面化粧台「BTG」、システムバスルーム「hairo(はいろ)」は、トータルコーディネートが可能となっております。

高級タイプのシステムキッチン 新型「S.S.ライトパッケージ」

特長
1 間口対応の拡大
2種から8種へ

特長
2 使い勝手で選べる高さの追加
1種から3種へ

特長
3 お求めやすい価格
ステンレスキャビネットの
キッチンをお求めやすい価格で



普及タイプのシステムキッチン 新型「ラクエラ」

特長
1 デザイン性
好みやインテリアに合わせられる
高級家具のようなデザイン

特長
2 収納力
たっぷり入るツール足元収納

特長
3 レイアウト
ライフスタイルに合わせて
選択可能



シャワー付洗面化粧台 新商品「BTG」

特長
1 洗練されたデザイン
洗面ボールは美しい陶器製

特長
2 使いやすさ
お手入れしやすい衛生的な
水栓まわり

特長
3 お求めやすい価格
シャワー付洗面化粧台を
お求めやすい価格で



システムバスルーム 新型「hairo(はいろ)」

特長
1 あったか
まるごと保温

特長
2 あんしん
床面フラットの
ユニバーサルデザイン

特長
3 クリーン
汚れが残りにくく
お手入れラクラク





サービス関連

昨年好評だった「キッチンお掃除教室」を、 お客さまのご要望にお応えて年2回開催へ

昨年11月～12月にかけて全国の主要ショールームで開催し好評だった「キッチンお掃除教室」を、お客さまのご要望にお応えて、今年は①7月～9月、②11月～12月の年2回開催へ拡大。当社商品購入者に限定せず、幅広く参加者を募集し、キッチンを知り尽くした専門メーカーならではのプロの「お掃除テクニック」をより多くのお客さまにご実感いただきました（参加費用は無料、所要時間は90分程度）。参加者にはお手入れについてのノウハウをまとめた当社オリジナル冊子「びかびか読本」などをまねなくプレゼントいたしました。



新宿ショールームでの「キッチンお掃除教室」

名古屋ショールームに、 パーティースペースをオープン

名古屋ショールーム内に、新宿（東京）、神戸、福岡に続き、全国で4ヶ所目となるパーティースペースをオープンいたしました。当社が提案するキッチン空間を実際に調理・飲食で使うことができ、ご購入前のお客さまが実際の使い勝手を確認められるほか、「食」を通じた様々なイベント開催の場としても活用し、地域のお客さまにもお気軽にご利用いただいております。



名古屋ショールームでの「家族が見守るお父さんの一品料理」

CSR関連

次世代育成支援対策推進法に基づく認定マーク 「くるみんマーク」を取得

国の「次世代育成支援対策推進法」（次世代法）に基づき、従業員が仕事での責任を果たしながら家庭との両立を図り、働き続けられる職場環境の整備を進めてきました。その結果、このたび厚生労働省から「子育てと仕事の両立を支援する企業」として認定され、次世代法認定マーク（通称：くるみんマーク）を取得しました。

当社は「家族の笑顔を創ります」を企業理念に掲げているキッチン専門メーカーとして、事業を通じて心豊かな食住文化を創り上げていくことを目指し、「子育てと仕事の両立ができる企業」としてさらに成熟し、男女を問わず従業員の家庭での子育て経験を商品やサービスに活かしてまいります。



全国129拠点のPCサーバを環境配慮型に刷新。 年間最大181トンのCO₂を削減

営業業務システムの中核を担う、全国129拠点の事業所やショールームの拠点サーバ158台を137台に集約。最高水準の低消費電力と省スペースを実現した富士通（株）のスーパーグリーン製品である、環境配慮型PCサーバに刷新いたしました。これにより、業務の生産性を高め、ひいては、お客さま満足度の向上につなげていくことが可能になります。

当社は今後も、省エネ・省資源活動を推進し、CO₂排出削減による地球温暖化防止の推進を積極的に行ない、環境にやさしい事業を行なってまいります。

クリナップ子育て 支援制度の特長

社内アンケートを反映した結果、
「育児・介護休業法」を上回る水準の制度となっている

1

育児休業の延長

2

育児休業の一部を有給化

3

小学3年生までの
育児短時間勤務制度

4

小学3年生までの看護休暇

主な 導入効果

- 年間のCO₂排出量を181トン（杉の木1万2,928本分）削減（従来の三分の一まで抑制）
- 大幅な省電力化を図ることができるため、年間約700万円のコスト削減効果（見込み）
- 静音設計の環境配慮型PCサーバ導入により、事務所やショールームの静音化を図り、オフィス環境を改善

連結ハイライト情報／連結セグメント情報

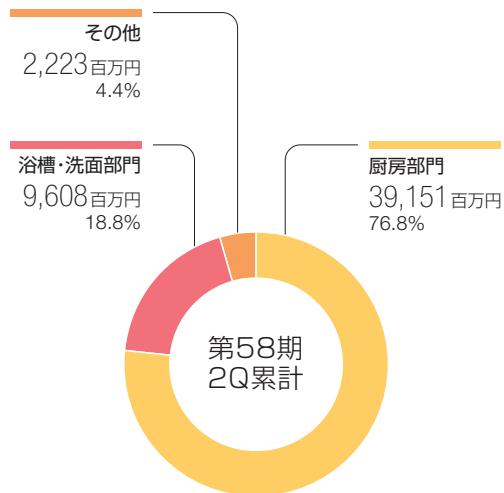
■ 連結財務ハイライト

(百万円)

| | 第56期2Q累計 2009年3月期2Q累計 | 第56期 2009年3月期 | 第57期2Q累計 2010年3月期2Q累計 | 第57期 2010年3月期 | 第58期2Q累計 2011年3月期2Q累計 |
|-------------|--------------------------|------------------|--------------------------|------------------|--------------------------|
| 売上高 | 54,193 | 109,205 | 48,482 | 98,843 | 50,982 |
| 営業利益(損失:△) | △ 606 | △ 1,100 | 1,362 | 1,840 | 1,874 |
| 経常利益(損失:△) | △ 652 | △ 1,163 | 1,278 | 1,679 | 1,760 |
| 当期純利益(損失:△) | △ 1,020 | △ 3,317 | 1,134 | 2,104 | 1,249 |
| 総資産 | 80,817 | 76,101 | 75,902 | 76,289 | 78,456 |
| 純資産 | 54,338 | 51,264 | 51,675 | 52,459 | 53,265 |

■ 部門別売上高(連結)

(百万円)



| | 第57期2Q累計 2010年3月期2Q累計 | 第57期 2010年3月期 | 第58期2Q累計 2011年3月期2Q累計 |
|---------|--------------------------|------------------|--------------------------|
| 厨房部門 | 36,993 | 77,185 | 39,151 |
| 浴槽・洗面部門 | 9,480 | 17,505 | 9,608 |
| その他 | 2,008 | 4,152 | 2,223 |
| 合計 | 48,482 | 98,843 | 50,982 |

厨房部門の主な商品

高級品クラスの「S. S.」シリーズ、中・高級品クラスの「クリンレディ」シリーズ、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されております。

浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリア」、普及品クラスの「hairo(はいろ)」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されております。



第58期第2四半期累計期間の営業概況

市場環境

当第2四半期累計期間の日本経済は、中国をはじめとする新興国の顕著な景気回復や政府による景気刺激策もあって、緩やかな持ち直しが見られる一方、雇用環境や所得情勢は依然として低迷、円高進行や株安等の不安要因も併せて、先行き不透明な厳しい環境が継続しております。

業績・成果

このような中で当社グループは、2010年6月、システムキッチン「S.S.ライトパッケージ」を間口や高さ等のバリエーションを増やしつつ、従来より5万円お求めやすくして発売いたしました。また、普及価格帯のシステムキッチン「ラクエラ」と、システムバスルーム「hairo (はいろ)」を同月リニューアルし、新洗面化粧台「BTG」とのトータルコーディネートも可能な商品として同時発売いたしました。

販売面では、地域有力店を対象に工場見学会を実施し、ファン化促進、連携強化を図りました。また、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店や有力リフォーム店との連携をさらに深め、全国102ヶ所のショールー

*VE活動： VE (Value Engineering) は、商品・サービスの期待される機能・価格を最低コストで確実に達成するための技術であり、VE活動は生産の現場におけるVE実現に向けた取り組み。

当社が所属する住宅設備機器業界におきましては、住宅ローン減税や住宅エコポイント制度導入等の需要促進策は打ち出されているものの、個人消費は将来の不安から節約志向が根強く、企業間競争激化により低価格志向が一層強まり、業界環境は厳しい状況が続いております。

ムを活用した「リフォームフェア」や「お料理教室」等を開催し、需要の獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続きVE活動(*)を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比5.2%増の509億82百万円となりました。利益面では増収により経費の増加を吸収し、営業利益は18億74百万円(前年同期比37.6%増)、経常利益は17億60百万円(同37.7%増)、四半期純利益は資産除去債務の計上があったものの12億49百万円(同10.1%増)と増益となりました。

第58期第2四半期累計期間の部門別の状況

厨房部門では、「S.S.」は「ライトパッケージ効果」もあり数量は2ケタ増したものの、金額は減、「クリンレディ」は数量、金額とも増、「ラクエラ」は数量、金額とも4割超の大幅増となりました。この結果、厨房部門の売上高は、前年同期比5.8%増の391億51百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「hairo (はいろ)」は数量、金額とも2ケタ超の増、洗面化粧台は数量、金額とも増加いたしました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は、前年同期比1.3%増の96億8百万円となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の要旨

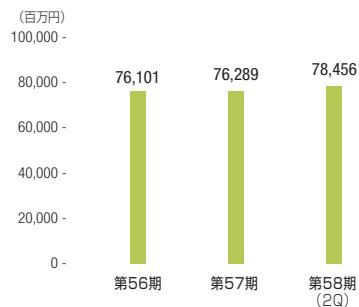
流動資産 流動資産は前期末比31億46百万円増加し528億2百万円となりました。これは主に、現金及び預金が10億37百万円増加、売上高増加等により受取手形及び売掛金が11億81百万円増加、有価証券が2億円増加、未成工事に在庫の積み上がり等により商品及び製品が6億22百万円増加したこと等によります。

固定資産 固定資産は前期末比9億79百万円減少し256億54百万円となりました。これは主に、減価償却等により有形固定資産が5億29百万円減少、無形固定資産が2億32百万円減少、時価評価等により投資有価証券が1億58百万円減少したこと等によります。

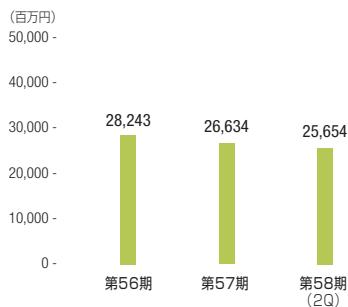
資産合計 固定資産が減少した一方で流動資産が増加したことから、資産合計は前期末比21億67百万円増加し784億56百万円となりました。

| | 第57期2Q 2009年9月30日現在 | 第58期2Q 2010年9月30日現在 | 第57期 2010年3月31日現在 |
|-----------------|------------------------|------------------------|----------------------|
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | 48,157 | 52,802 | 49,655 |
| 現金及び預金 | 17,012 | 21,306 | 20,269 |
| 受取手形及び売掛金 | 22,351 | 25,104 | 23,923 |
| その他 | 8,841 | 6,436 | 5,508 |
| 貸倒引当金 | △ 48 | △ 47 | △ 46 |
| 固定資産 | 27,744 | 25,654 | 26,634 |
| 有形固定資産 | 19,906 | 18,527 | 19,056 |
| 建物及び構築物 | 8,797 | 8,456 | 8,534 |
| その他 | 11,109 | 10,070 | 10,521 |
| 無形固定資産 | 2,597 | 2,076 | 2,309 |
| 投資その他の資産 | 5,240 | 5,051 | 5,268 |
| 投資有価証券 | 2,319 | 2,246 | 2,404 |
| その他 | 3,116 | 2,910 | 3,027 |
| 貸倒引当金 | △ 195 | △ 106 | △ 163 |
| 資産合計 | 75,902 | 78,456 | 76,289 |

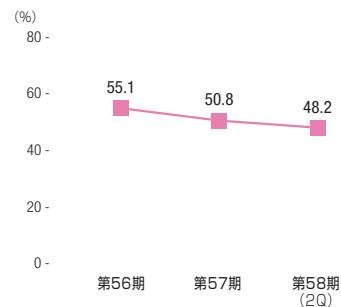
■ 資産合計



■ 固定資産



■ 固定比率





(百万円)

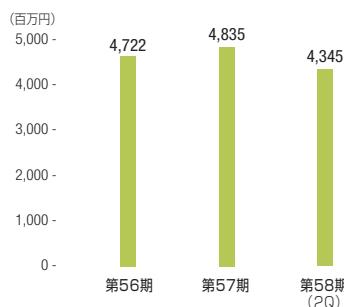
| | 第57期2Q 2009年9月30日現在 | 第58期2Q 2010年9月30日現在 | 第57期 2010年3月31日現在 |
|-----------------|------------------------|------------------------|----------------------|
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | 17,447 | 18,785 | 17,470 |
| 買掛金 | 5,829 | 6,117 | 6,033 |
| その他 | 11,618 | 12,666 | 11,436 |
| 固定負債 | 6,779 | 6,406 | 6,359 |
| 長期借入金 | 3,045 | 2,065 | 2,555 |
| 退職給付引当金 | 1,216 | 1,598 | 1,415 |
| 役員退職慰労引当金 | 424 | 424 | 424 |
| その他 | 2,093 | 2,317 | 1,964 |
| 負債合計 | 24,226 | 25,191 | 23,830 |
| (純資産の部) | | | |
| 株主資本 | 51,517 | 53,268 | 52,253 |
| 資本金 | 13,267 | 13,267 | 13,267 |
| 資本剰余金 | 12,351 | 12,351 | 12,351 |
| 利益剰余金 | 26,888 | 27,680 | 27,624 |
| 自己株式 | △ 989 | △ 30 | △ 989 |
| 評価・換算差額等 | 157 | △ 3 | 206 |
| その他有価証券評価差額金 | 155 | 1 | 207 |
| 為替換算調整勘定 | 1 | △ 5 | △ 1 |
| 純資産合計 | 51,675 | 53,265 | 52,459 |
| 負債純資産合計 | 75,902 | 78,456 | 76,289 |

流動負債 流動負債は前期末比13億14百万円増加し187億85百万円となりました。これは主に、仕入増加等に伴う信託一括支払いが増えたこと等により未払金が6億99百万円増加、前受金(流動負債その他)が5億6百万円増加したこと等によります。

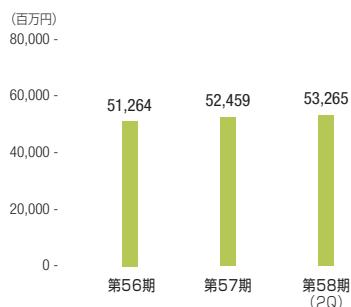
固定負債 固定負債は前期末比46百万円増加し64億6百万円となりました。これは主に、長期借入金が4億90百万円減少した一方で退職給付引当金が1億83百万円増加、資産除去債務が3億49百万円増加したこと等によります。

純資産合計 純資産合計は前期末比8億6百万円増加し532億65百万円となりました。これは主に、四半期純利益12億49百万円、配当金の支払い2億34百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億5百万円などによります。また、自己株式200万株(9億58百万円)を6月30日付で消却しております。この結果、自己資本比率は前期末比0.9ポイント低下し67.9%となりました。

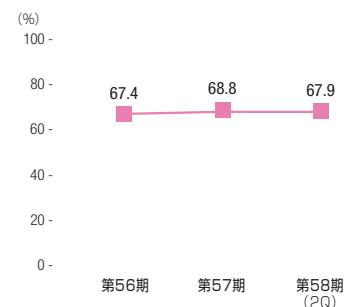
有利子負債



純資産合計



自己資本比率



連結財務諸表

(百万円)

■ 連結損益計算書の要旨

売上高 厨房部門と浴槽・洗面部門の売上高がともに増収となったことから、売上高は前年同期比5.2%増の509億82百万円となりました。

売上原価 生産面で引き続き原価低減に努めた結果、売上原価率は前年同期比0.2ポイントダウンの65.1%となりました。

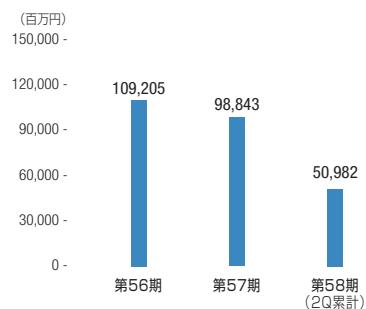
販管費 販管費は増収に伴って前年同期比4億78百万円増加しましたが、徹底したコスト削減による経費の圧縮に努めた結果、販管費率は前年同期比0.7ポイントダウンの31.2%となりました。

営業利益 増収効果に加え、売上原価及び販管費の圧縮に努めた結果、営業利益は前年同期比37.6%増の18億74百万円となりました。

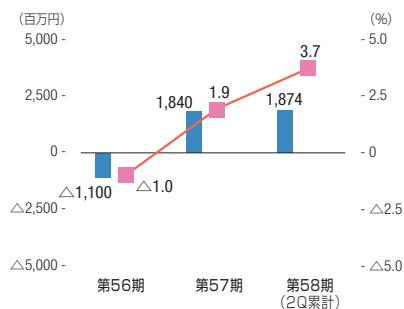
四半期純利益 資産除去債務の計上があったものの、四半期純利益は前年同期比10.1%増の12億49百万円となりました。

| | 第57期2Q累計 2009年4月1日～ 2009年9月30日 | 第58期2Q累計 2010年4月1日～ 2010年9月30日 | 第57期 2009年4月1日～ 2010年3月31日 |
|---------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 売上高 | 48,482 | 50,982 | 98,843 |
| 売上原価 | 31,669 | 33,179 | 66,014 |
| 売上総利益 | 16,812 | 17,803 | 32,829 |
| 販売費及び一般管理費 | 15,450 | 15,928 | 30,988 |
| 営業利益 | 1,362 | 1,874 | 1,840 |
| 営業外収益 | 279 | 274 | 551 |
| 営業外費用 | 363 | 388 | 712 |
| 経常利益 | 1,278 | 1,760 | 1,679 |
| 特別利益 | 67 | 2 | 93 |
| 特別損失 | 74 | 343 | 105 |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益 | 1,271 | 1,419 | 1,667 |
| 法人税等 | 136 | 169 | △ 436 |
| 少数株主損益調整前四半期(当期)純利益 | — | 1,249 | — |
| 四半期(当期)純利益 | 1,134 | 1,249 | 2,104 |

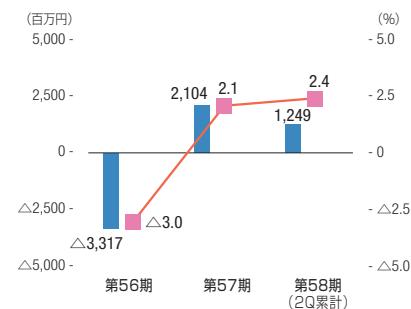
■ 売上高



■ 営業利益・営業利益率



■ 四半期(当期)純利益・四半期(当期)純利益率





■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(百万円)

| | 第57期2Q累計 2009年4月1日～ 2009年9月30日 | 第58期2Q累計 2010年4月1日～ 2010年9月30日 | 第57期 2009年4月1日～ 2010年3月31日 |
|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,692 | 2,492 | 7,468 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 972 | △ 493 | △ 1,262 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,076 | △ 757 | △ 1,002 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 4 | △ 4 | 1 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 1,647 | 1,237 | 5,205 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 16,675 | 21,881 | 16,675 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 | 18,323 | 23,118 | 21,881 |

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は前年同期比32.5%減の24億92百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益14億19百万円、減価償却費14億43百万円、未払金の増加7億17百万円があった一方で、売上債権の増加6億16百万円、たな卸資産の増加7億52百万円があったこと等によります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は前年同期比49.3%減の4億93百万円となりました。これは主に、生産設備の増設および改修など有形固定資産取得に伴う支出1億29百万円、顧客管理など情報システム構築に伴う支出2億28百万円、投資有価証券の取得による支出2億7百万円があったこと等によります。

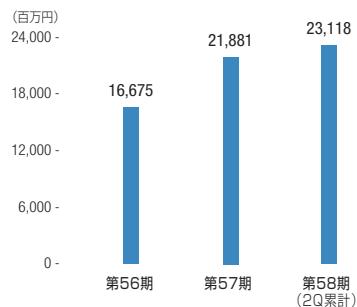
財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は前年同期比29.6%減の7億57百万円となりました。これは主に、長期借入金の約定返済4億90百万円、配当金の支払い2億34百万円があったこと等によります。

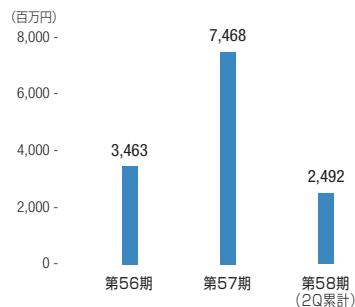
現金及び現金同等物の四半期末残高

これらにより、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比12億37百万円(5.7%)増加し231億18百万円となりました。

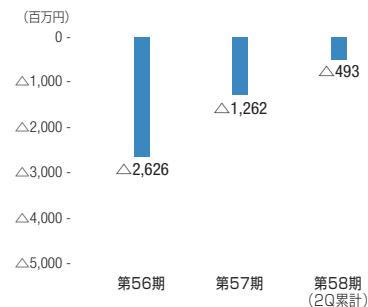
■ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



■ 投資活動によるキャッシュ・フロー



株主関連情報 (2010年9月30日現在)

■ 剰余金の配当について

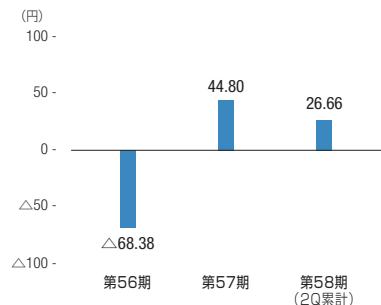
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つと考えております。長期的な安定と成長を実現することにより最大の利益をあげ、安定的な配当を長期的に継続していくことを基本方針とし、概ね30%程度の配当性向を目標としております。

内部留保資金につきましては、新製品生産設備、営業拠点整

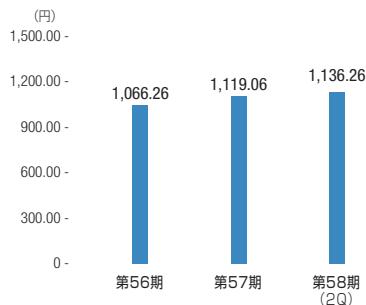
備、情報基盤整備等の設備投資に充て、効率的な経営による収益力の向上と資本効率の向上に努めてまいります。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株当たり5円とさせていただきます。また、当期の年間配当金は、中間配当を含め1株当たり10円の配当を予定しております。

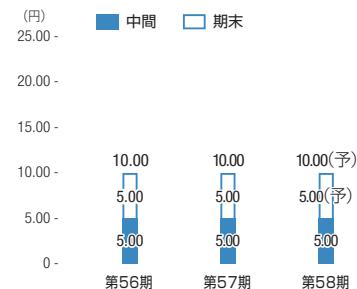
■ 1株当たり純利益



■ 1株当たり純資産

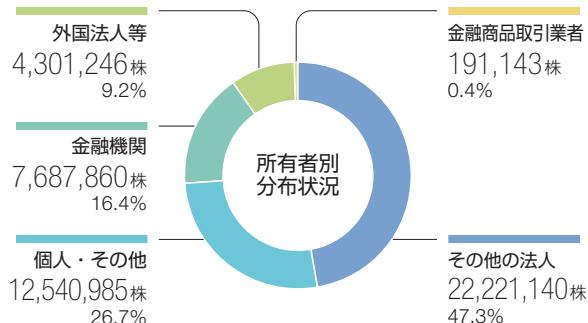


■ 1株当たり配当金



■ 株式の状況

| | |
|----------|---------------|
| 発行可能株式総数 | 130,000,000 株 |
| 発行済株式総数 | 46,942,374 株 |
| 株主数 | 5,134 名 |



■ 大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 出資比率(%) |
|--------------------------------|---------|---------|
| 株式会社井上 | 12,476 | 26.6 |
| 株式会社タカヤス | 6,829 | 14.5 |
| クリナップ社員持株会 | 2,307 | 4.9 |
| クリナップ真栄会 | 1,631 | 3.4 |
| ザバンクオブニューヨーク・トリシティ・ジャステックアカウント | 1,405 | 2.9 |
| クリナップ共進会 | 1,314 | 2.8 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,243 | 2.6 |
| 井上 けよ | 1,133 | 2.4 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,043 | 2.2 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 693 | 1.4 |

注) 出資比率は自己株式(64,436株)を控除して計算しております。

会社情報 (2010年9月30日現在)



■ 会社概要

| | |
|--------|--|
| 商号 | クリナップ株式会社 Cleanup Corporation |
| 本社所在地 | 〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号 |
| 電話 | 03-3894-4771(大代表) |
| 創業 | 1949年10月5日 |
| 会社設立 | 1954年10月5日 |
| 工場 | 1990年2月6日 東証2部上場 1991年9月2日 東証1部指定 |
| 資本金 | 132億6,734万円 |
| 主要営業品目 | 厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他 |
| 社員数 | 2,672名 |
| 主な事業所 | 支社：国内2カ所 支店：国内9カ所 営業所：国内121カ所 海外：香港、北京、上海（関係会社） 工場：四倉、鹿島システム、鹿島、湯本、クレート (いずれも福島県いわき市) |

■ 役員

| | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 代表取締役社長 | 井上 強 一 | 取締役相談役 | 高嶋 信 |
| 取締役 | 加藤 亨 一 | 取締役相談役 | 川合 和 夫 |
| 取締役 | 小島 輝 夫 | 常勤監査役 | 山根 康 正 |
| 取締役 | 小松 裕 恒 | 監査役 | 猪狩 昌 行 |
| 取締役 | 鈴木 章 | 監査役 | 新谷 謙 一 |
| 取締役 | 松浦 昌 孝 | 監査役 | 有賀 文 宣 |
| 取締役 | 佐藤 茂 | | |
| 取締役 | 屋代 光 昭 | | |

注) 監査役 新谷謙一および有賀文宣の両氏は、社外監査役であります。

■ ショールーム (全国102カ所)

| | | | |
|-----------|------|-----------|------|
| リテール事業部 | 1カ所 | 北陸支店ブロック | 5カ所 |
| 札幌支店ブロック | 4カ所 | 静岡支店ブロック | 4カ所 |
| 東北支店ブロック | 13カ所 | 名古屋支店ブロック | 8カ所 |
| 北関東支店ブロック | 6カ所 | 大阪支店ブロック | 11カ所 |
| 東京支店ブロック | 19カ所 | 中四国支店ブロック | 15カ所 |
| 信越支店ブロック | 5カ所 | 九州支店ブロック | 11カ所 |

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

※株主・投資家のみなさまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。
また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。



■ 株主メモ

| | |
|------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金 受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金 受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部 |
| 公告方法 | 電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告掲載 URL http://cleanup.jp/ |
| 単元株式数 | 100株 |

【株式に関するお手続きについて】

■ 証券会社等の口座に記録された株式

株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せ下さい。

■ 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せ下さい。

■ 未受領の配当金

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せ下さい。

【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】

三菱UFJ信託銀行株式会社

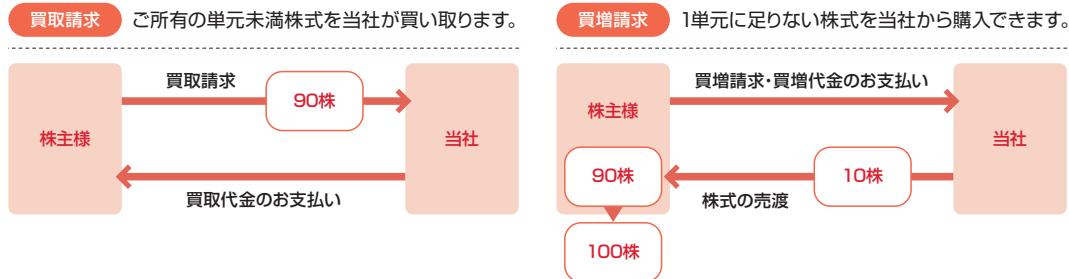
【同連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては市場で売買することはできませんが、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せ下さい。

(例) 株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等に開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続をお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せ下さい。

クリナップ®株式会社

東京都荒川区西日暮里6-22-22 〒116-8587 TEL 03(3894)4771

